

商業科「簿記」指導案

平成28年11月15日（火）5校時（13:50～14:40） 情報科学室 指導者 鶴岡 優子

1 単元名 「小切手と約束手形について」

2 単元観

本単元は、高等学校学習指導要領の第2節 商業科目目標（2）「ビジネスの意義や役割について理解させるとともに」にあたるものである。

簿記で学習する事項を中心に、銀行で体験したことを伝えることで、簿記やビジネスに興味を持たせ、その意義や役割を理解させる。そして、ビジネスの現場において、小切手や約束手形がどのように取り扱われているのかを具体的な事例により理解させる。また、「なぜ、小切手を使うのか」を考えるなどの演習を通して、数字を正確に書く重要性を理解させ、小切手や約束手形の基礎的な知識を身に付けさせ、今後の学習活動に生かしていく。

3 研修との関わり

総合学科である所属校の情報ビジネス系列（1学年後期に選択）では、簿記や情報処理の基本的な内容を学習している。後期より専門科目の学習を始めたばかりである。

そこで、研修の体験から、生徒が身に付ける知識が業務でどう生かされるのか、今後どのように学習していくことが、将来の仕事につながるのかについて理解させたいと考えた。また、その知識を小切手や約束手形への興味につなげ、小切手や約束手形に関する基礎的・基本的な知識を身に付けさせ、その意義や役割を理解させたいと考えた。

研修先の群馬銀行では、本店営業部に所属している。研修は「各部署における実務研修」「入校時研修などの研修」の二つに分けられる。実務研修では主に、銀行の基本的な業務について知ることができた。中でも、教科書等からの知識でしかない小切手や約束手形が企業の支払い手段として頻繁に使われていることを実体験として学ぶことができた。このことから実務における取り扱い方やその特徴などについて、生徒に伝えたい。

入行時研修では、商業科目で学んでいる内容も多い。現在勉強している内容が企業でも同様に扱われていることを、生徒に伝えたい。

4 指導方針

- ・生徒は商業科目を自ら選択している。その興味や関心をより高めるために、体験した内容を写真や事例により具体的に示す。
- ・生徒への事前アンケートで得た結果（銀行業務や決済方法など）を授業の中で生かす。
- ・生徒は簿記を学び始めて間もない。取引や決済の流れ等、基本的な内容について、プレゼン資料を用いて示す。

5 評価規準（本時の活動）

評価規準	知識・理解	小切手や約束手形に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、小切手や約束手形の意義や役割を理解している。
時間	伸ばしたい資質・能力 知識・理解	主な学習活動
本時の活動	<ul style="list-style-type: none">・商業科目と実務のつながりを知る。・実務で小切手や約束手形がどのように取り扱われているのかを知り、理解する。	<ul style="list-style-type: none">・社会体験の体験内容を聞く。・小切手や約束手形について、資料調べやペアワークを行う。

6 本時の学習指導

- (1) 目標 「銀行業務の体験談から、簿記を学ぶことの意義や役割を理解する」
- (2) 準備 【教員】資料「手形・小切手のはなし」、ワークシート、プロジェクタ
【生徒】教科書、筆記用具
- (3) 展開

学習活動 予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する生徒への支援 ◇評価) (太字は実務とのかかわり)
<p><導入></p> <p>1 社会体験研修の体験内容を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修員の自己紹介 ・席の隣同士で自己紹介をする。 ・群馬銀行について知る。 <p>2 アンケート結果を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・銀行に行ったことがありますか？ ・銀行の預金口座（通帳）を持っていますか？ ・銀行で預金口座を作るには。 ・銀行はどんな仕事をしているか知っていますか？ ・銀行の三大業務について。 ・ペッパー君がご案内係として働いていることを知る。 ・体験した業務について伝える。 (ご案内係、預かり資産係、外国為替係) ・銀行内での研修について 	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいを確認する。 ・アンケート結果を伝える。 ・体験した業務について伝える。
<p><展開></p> <p>3 小切手と約束手形〈講義・ペアワーク〉 ※資料の配付：手形・小切手のはなし(全銀協)</p> <p>○ 商品を仕入れてきたら、代金は、どう支払うのでしょうか？ (生徒の予想：現金・掛け)</p> <p>○ 小切手が現金の代わりに使われていることを知る。</p> <p>○ 小切手の基本的な流れを知る。</p> <p>① なぜ小切手を使うのでしょうか？なぜ、お金の代わりになるのでしょうか？ (生徒の予想：多額の現金を持ち運ぶのは手間がかかる)</p>	2分 5分 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を自分で読み、調べながら授業を進めていく事を確認する。 ・ワークシートに記入させた回答について、ペアで確認させる。 ・銀行で、どのように小切手が扱われているか体験した内容を通じて伝える。 ・ペアで考えさせる。

<p>② 小切手に記載されている金貳百五拾万円 也は、いくらでしょうか？ （生徒の予想：貳や拾が読めないのではない か？） 一、二、三、十をどう改ざんできるかを考 える。</p>	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・ なぜ、旧漢数字（大字）を使うのか考えさせる。 ・ 改ざんを防ぐために、漢数字やチェックライターを用いられていることを知る。
<p>③ 10万円の支払いで小切手に100万円と書いて渡してしまったら、どうなるでしょうか？</p>	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 金額を正確に書く必要性を知る。 ・ ワークシートに記入させた回答について、ペアで確認させる。
<p>○ 約束手形について知る。</p>	3分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 銀行で、どのように約束手形が扱われているか体験した内容を通じて伝える。
<p>④ 小切手と約束手形は、どのような違いがあるのでしょうか。 （生徒の予想：小切手は、当座預金の残高がないと振り出すことができない。しかし、約束手形は、当座預金の残高がなくても、支払期日までに当座預金の残高があれば振り出すことができる）</p>	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 約束手形は原則として支払期日にならないと現金化することができないことを理解させる。 <p>◇「商業科目と実務のつながり」「小切手や約束手形の実務での取り扱い」について理解している。 (ワークシート回収)</p>
<p><まとめ> 4 体験を通して伝えたいこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ルールを守る ・ 資格取得 ・ 情報化社会 	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートへの記述内容を再度確認させる。